

審査項目	満点	評価	備考
規模と環境			
科学的に見て、さらに利用者の目から見て魅力的なジオサイトが十分な数あるか	15		
ジオサイトと有機的に関連づけられた生態学・考古学、歴史・文化的なサイトがあるか	7		
区画の広さは充分か、また運営可能な広さか？	5		1
運営			
運営主体は明確で人的・財政的な裏付けがあるか	5		2
運営組織に必要な機関・団体などが加わっているか	5		3
運営組織に地域住民、住民によるNPOなどの団体が充分関与しているか	5		
適切な基本計画・運営計画があるか	5		
経済開発			
ジオツアーが実践されているか	10		
ジオと関連した商品など地域の資源を生かした商品開発がなされているか	8		
教育			
地学教育・環境教育・防災教育の中心となる何らかの施設・組織・団体があるか	5		
自然観察路、説明看板、ガイドブックやガイドマップが整備されているか	7		
大学・博物館などの研究者と自治体・地域住民との協力関係があるか	5		4
地元の学校の生徒、地域の人々に向けて地学教育・環境教育・防災教育を行うなど、地元ガイドの養成プログラムがあるか	5		
訪問者を対象とした教育プログラムがある	5		
保護・保全			
重要なgeoheritageとそれを含む地域に何らかの法的な保護措置があるか？ない場合は何らかの保全に行っているか	8		
特記事項			
上記の項目になく特に高く評価される点があればお書き下さい			
			5
合計	100	0	

## 備考

- 1 ガイドラインには広さについての記述がありますが、自己評価票ではこのことに関して評価項目がありません
- 2 運営主体は「運営協議会」などの事務局となる自治体等を想定しています
- 3 運営組織は「運営協議会」などです
- 4 申請書のジオサイトの記載などから良い協力関係があるかある程度判断できると思われます
- 5 災害対策や防災教育など、現時点でガイドラインに含まれていないものの、アピールできる点などを評価します